

## JIS L 1922 繊維関連 抗ウイルス試験規格改正と業界の対応

### 新型コロナウイルスを追加 — 試験依頼時にご注意ください

繊維製品に関する抗ウイルス性試験方法(JIS L 1922)が先ごろ改正され、試験対象ウイルスに新型コロナウイルスが追加されました。当財団でも新型コロナウイルスを用いた JIS に基づく評価試験が可能です。また、抗ウイルス活性値の算出方法にも改正があり、対照試料の減少値によって算出方法が変わります。

一方、繊維業界での基準をリードする【SEK マーク認証基準】では、当面の間は旧規格(2016 年度版)での認証基準を継続するとしています。SEK マーク認証に関わる試験をご依頼の際は、お手数ではありますが『SEK マーク関連』である旨(あるいは『旧規格での試験実施』)をご連絡いただきますよう、よろしくお願いいたします。

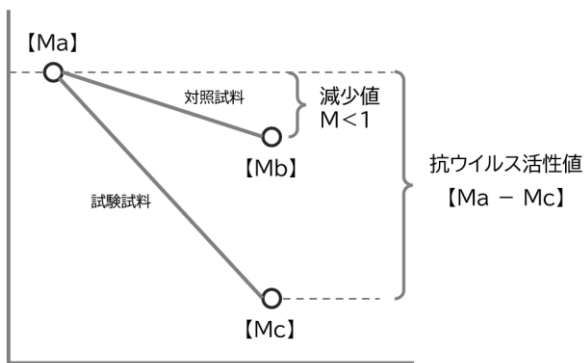
#### ■変更点① 試験対象ウイルス株

インフルエンザ	ネコカリシウイルス	<b>SARS-CoV-2</b> ※新規追加
○Influenza A virus (H3N2) ○Influenza A virus (H1N1):	Feline calicivirus: Strain: F-9	Severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 (SARS-CoV-2)

#### ■変更点② 抗ウイルス活性値の算出

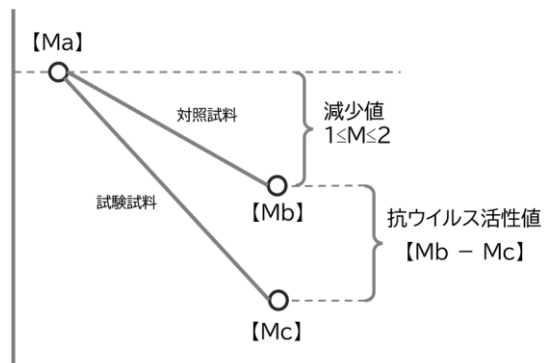
パターン a) 対照試料の減少値  $M < 1$

抗ウイルス活性値:  $M_v = M_a - M_c$



パターン b) 対照試料の減少値  $1 \leq M \leq 2$

抗ウイルス活性値:  $M_v = M_b - M_c$



#### ■目的別の対応試験規格

SEK マーク認証に関わる試験のご依頼 →旧規格(2016 年版)	新型コロナ試験のご依頼 →新規格(2024 年度版)	その他 試験のご依頼 →原則 新規格(2024 年度版)
--------------------------------------	-------------------------------	---------------------------------

■一般財団法人ニッセンケン品質評価センターでは、業界基準に合わせた試験方法をはじめ、規格を応用した試験にも柔軟に対応しております。抗ウイルス性試験に関するご質問・ご依頼はニッセンケンの [各事業拠点](#) にお問い合わせください。専用のお問い合わせフォームからお受けしています。